

領域：社会の変化に対応する図書館サービス (区分 B)

ヤングアダルト・サービス

- 1 ヤングアダルト・サービスはなぜ必要か？(ヤングアダルト・サービスの目的)
 - (1) ヤングアダルトは「特殊な」存在か？
 - (2) ヤングアダルトは「子ども」ではないのか？
 - (3) ヤングアダルト・サービスのゴール(目標)は何か？

- 2 公共図書館サービスの中でのヤングアダルト・サービスの位置
 - (1) 成人サービスとどういう関係にあるか？
 - (2) 児童サービスとどういう関係にあるか？
 - (3) ヤングアダルト・サービスにおけるレファレンス・サービスにはどんな特徴や問題があるか？
 - (4) 公共図書館が持っている「ひろば」としての機能をヤングアダルト・サービスにどう生かすか？

- 3 行政サービス、教育の中でのヤングアダルト・サービスの位置
 - (1) 図書館以外の行政各部門でのヤングアダルトの扱いはどのようになっているか？
 - (2) 学校教育におけるヤングアダルトの扱いはどのようになっているか？
 - (3) 他の社会教育部門でのヤングアダルトの扱いはどのようになっているか？

- 4 ヤングアダルト・サービスの実際
 - (1) ヤングアダルト・サービスを行うのに効果的な要素はなにか？
 - (2) ヤングアダルト・サービスを担当するスタッフに求められるものはなにか？
 - (3) ヤングアダルト・サービスにおける集会・行事はどのような意味があるか？

- 5 ヤングアダルト・サービスの問題点(課題)
 - (1) ヤングアダルト・サービスと図書館の自由との関わりでどのような問題があるか？
 - (2) ヤングアダルト向けの出版を振興するにはどうすればよいか？
 - (3) 新しいメディアをヤングアダルト・サービスでどう提供・活用するか？